

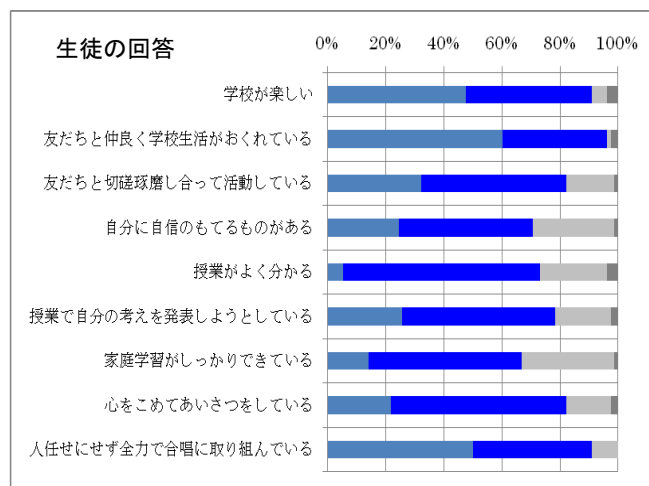
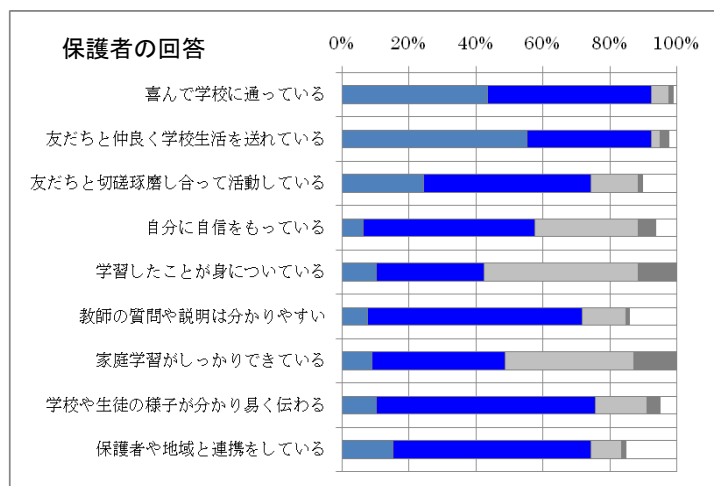
～北稜中の教育活動 今年1年は、どうだった?～

1. 平成22年度の指導の重点は・・・

<p>◇ 学ぶことのおもしろさを 味わう授業づくり</p> <p>昨年度からつくってきた「伝える・つなげる」に加えて、最後には「分かった」と言える授業を目指しました。</p>	<p>◇ 仲間とやりきる喜びを 味わえる学校づくり</p> <p>生徒が主体的に活動し達成感を味わえるために、見通しをもって活動に取り組めるようにしました。</p>	<p>◇ 愛着と信頼を 得られる学校づくり</p> <p>生徒の取り組みを地域で発表したり交流したりする、学校外での活動を積極的に取り入れました。</p>
---	--	---

2. 保護者や生徒の学校評価アンケートから・・・(抜粋)

[評価について] ■ よかった ■ まあよかった ■ あまりよくなかった ■ よくなかった 分からない



上記のアンケート結果や学校職員による振り返りをもとにして、学校評議員の方々からもご意見をいただき、今年度の成果と課題を次のようにまとめました。

3. 今年度の成果と課題は・・・

「学ぶことのおもしろさを味わう授業づくり」では

- 昨年度と比較すると、70%を超える生徒が、授業が「よく分かる」「まあ分かる」と答え(10%増)、80%近くの生徒が進んで挙手発言が「よくできる」「まあできる」と答える(30%増)など、生徒同士が進んで学び合うことができるようになってきた。
- ◇ 各教科で、生徒一人一人が「分かった」「できた」という学ぶ喜びをさらに味わえるような授業づくりを、もっと工夫していく必要がある。
- ◇ 生徒一人一人に学習すべきことをきちんと身に付けるために、一人一人の得意や不得意に応じた家庭学習の仕方を指導していく必要がある。

「仲間とやりきる喜びを味わえる学校づくり」では

- 90%を超える生徒が学校を楽しんでいると感じ、仲間と笑顔で生活することができた。特に、学年ごとの研修や、体育祭、北稜祭、三年生を送る会といった全校行事を通して、「合唱」を充実させることができた。また、普段の生活の中で、生徒同士で気軽に声を掛け合える「あいさつ」ができるようになってきた。
- ◇ 1年を見通した生徒会の活動計画に沿って生徒の活動時間を十分に確保し、じっくり取り組めるように一手間かけた指導をしていく必要がある。
- ◇ 自分の歩みを自身もしくは学校の誇りとして受けとめられるように、活動のなかでの主体性や努力などのがんばりを認め、褒めることがますます大切になってくる。

「愛着と信頼を得られる学校づくり」では

- 丹生川中学校との合唱交流、日枝中学校の授業参観を行い、自校の取り組みを振り返り、さらに高めることができた。また、本郷・栢尾両小学校との交流によって小中の連携を深めることができた。
- ◇ さらに活動の成果を地域へ発信（発表・紹介・ホームページ等）することによって、地域の声を生徒の成長に生かす地域一体型の指導を目指す。

